

基本
方針

ファーストリテイリングは、経営のあり方、企業取引姿勢、ものの考え方など、あらゆる企業活動において「正しさ」にこだわります。企業として法令を遵守し、公正さを心がけるのはもちろんのこと、従業員一人ひとりやお取引先に対しても、「正しい」行動を求めています。

パートナー工場の労働環境モニタリング

ユニクロは、中国をはじめベトナム、バングラデシュなどアジア地域を中心に約70社の生産パートナーと一体となって商品の安全管理や生産効率の向上、高品質の追求に努めています。また、商品が適正な環境のもとで生産されているかどうか、定期的にモニタリングし、改善を進めるとともに、情報開示を行っています。（詳細は、特集P17～23参照）

45件 企業取引倫理委員会への
上程案件数

企業取引倫理委員会の設置

ユニクロは、お取引先と対等かつ友好的なパートナーシップを築くために、2004年に「企業取引倫理委員会」を設置し、行動基準「優越的地位の濫用※行為防止ガイドライン」を制定しました。企業としてふさわしくない行為をなくすため、従業員の意識を高め、企業行動を見直していくというもので、2009年からは、グループ全体をカバーし、取組みを開始しました。委員会はCSR部責任者を委員長とし、常勤監査役・社外監査役・顧問弁護士や社内関係部署の責任者を中心に構成しています。2009年度は、45件の案件が上程されました。具体的には、一方的な取引停止や縮小などが無いかどうか、また、トラブル発生時にかかった費用の負担割合が不公平になっていないかどうかなどを審議しています。

審議に際しては、当社側、お取引先、双方にヒアリングし、事実関係を調査後、委員会に上程し、結果を通知しています。

※ 優越的地位の濫用：取引上の地位が優越していることを利用して、相手方を抑圧し、対等な関係ではありえない一方的に不利益な取引条件を強要することを言います。



217件 アンケート回収件数

お取引先アンケート調査（第6回）の実施

ファーストリテイリングは、全部署を対象として、四半期に一度、お取引先とのトラブルの有無について調査を行っています。また、お取引先に対しては、2003年より、年1回アンケート調査を実施し、取引内容や当社役員・従業員の行動に問題が無かったかどうかを確認しています。

2009年度お取引先アンケートの結果

- 実施期間：2009年8月～10月
- 対象：ファーストリテイリングおよびユニクロの主要お取引先
- アンケート回収件数：国内 134社 / 202社中（回収率66%）
海外 83社 / 135社中（回収率61%）
- アンケート項目：
 - ・当社社員の態度や対応について（金銭リベートの有無、面談時のマナーなど）
 - ・取引時の対応について（契約条件変更の有無・契約条件以外の納期、値引などの要求の有無）
- アンケート結果のコメント事例：
 - ・面談時の服装がほとんどカジュアルである。
 - ・面談時間を一方的に決めたり、アポイントを取らない場合もある。
 - ・現在、環境保全と人権保護が企業としての責任であり、商品の品質や安全性の向上だけでなく、一歩進めた取組みを一緒に行うべきである。

